



『今になって分かる』

校長 福田 雅子

(その1)

以前卒業生が来てくれた時のことです。彼は専門学校を卒業し、現在ゲーム関連の会社で仕事をしています。そして夕方から居酒屋でも働いていると近況報告してくれました。掛け持ちです。そんなに仕事してるんだ。頑張るね、体力あるね、と話したら、『いやあ、実はこの前具合悪くなって、体重が5kg落ちたんですよ。今は回復しましたけど。その居酒屋も例にもれず人手不足で、ピンチヒッターは別にいるのだけど、確実に仕事に入れるのはもう一人のバイトと自分と合わせて二人なので。』ということです。大変なんだね、と聞いていると、「ああ、やっぱり資格とか取っておけば良かった。というか、大学に行けば良かったと思いますね。βコースでは成績も良かったのもあって、先生から大学進学しないかとも言われたんですが、やはり勉強している科目もαコースとβコースでは違っているし、そこから大学受験のための勉強するのはどうかと思って。そもそもαコースを選択すれば良かったんですけどね。コースは2年に進級するとき決まるから今になってわかるんですよね。」

(その2)

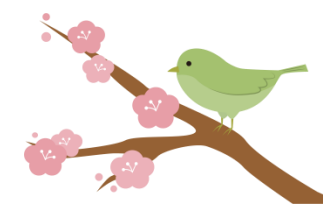
その日の午後、また別の二人が訪問してくれました。一人は大学生、一人はミライの小値賀を担う一人として今小値賀で仕事をしています。大学生が「自分は高校の頃、それなりにやれていると思っていた。自分のことはしっかりしていると。でも大学に行ったら全然並みで、なんてことなかった。周り皆同じように、あるいはそれ以上にちゃんとできている。小値賀の環境は甘いと思う。」するともう一人が、「コミュニケーション力というか、自分の意見や考えを初めての人にもしっかり言えることが大事かよね。小値賀にいれば鍛えられると思うけどな。」

これはその日話した内容のほんの一部です。私たち教師は、卒業生がそれぞれ次のステップで奮闘している話を聞かせてもらうのは嬉しいものです。それが目標としていた夢に近づいているようなら、尚良かれです。そしてその卒業生との何気ない会話の中には、このように「そうか」と頷く言葉があるのです。同時に彼らが在校生当時、私は当たり前、しかし大事なことをしっかり伝えられていたのだろうかと思省もさせられます。確かに繰り返し言って聞かせていても、また生徒たちがそれを頭で分かっていたとしても、この卒業生たちのようにリアル社会で体験しなければ納得したものにならないのかもしれませんが、それでもやはり私たちは今の生徒たちに足りないもの、恵まれすぎていて見えていないものを繰り返し、粘り強く教示していかなければなりません。いつか、「ああ、そう言えばあの先生がいつも言っていた。」と思う日が来ることを願いながら。

彼らにはそのうち“ようこそ先輩・北松西版”として、後輩たちに語ってほしい。自分たちが高校生の頃は気づかなかったこと、高校生の今やっておくべきこと、社会に出てみてわかったこと。かわいい後輩たちは、きっと真剣に耳を傾けてくれるはずです。

3月の行事予定

日	曜	行事予定
1日	日	第65回卒業証書授与式
2日	月	代休
7日	土	2年五島地区学習交流会(～8日)
8日	日	おぢか音楽フェスティバル(吹奏楽部)
10日	火	入学者選抜学力検査、生徒休業日、部活動禁止(～11日)
13日	金	個人写真撮影
15日	日	Spring Concert2020(吹奏楽部)
18日	水	合格者発表
19日	木	進路体験発表会
20日	金	ソフトテニス部九十九島カップ(佐世保)
21日	土	ソフトテニス部個人選抜大会(長崎)
23日	月	球技大会、合格者オリエンテーション
24日	火	修了式・離任式



— お知らせ — ～第65回卒業証書授与式～

日時：3月1日(日) 10:00～ (保護者受付 9:20～)
 場所：本校体育館



献血講座

1月28日(火)、全学年を対象に献血講座を実施しました。長崎県赤十字献血センター 山下 隆司氏、長崎県赤十字献血センター佐世保出張所 井福 明氏、長崎県五島振興局保健部衛生環境課 川井 仁氏をお招きし、「少しの勇気～誰かの大切な命へ～」の演題で講話をしていただきました。生徒は献血について知り、深く考える良い機会となったようでした。



主権者教育

2月7日(金)各ホームルームにおいて主権者教育が実施されました。今回の主権者教育は、民主主義の基本である話し合いや討論の形式で行いました。

1年「若者はどうして選挙に行かないのか」

2年「小学生に選挙に行かないといけない理由をどのように伝えたらよいだろうか」

と若年層の投票率が低下している状況でなぜ投票率が低いのか、若者が選挙に行かないとどうなるかについて学年で議論を行いました。生徒はお互いに活発に意見を出し合い議論をして、主権者として声を届ける意味について理解することができました。



高校生の魚さばき&郷土料理教室

1月27日(月)3年生を対象に高校生の魚さばき&郷土料理教室を実施しました。漁業指導士の中村さんおよびPTA、かーちゃんの会、産業振興課の方々に御指導をいただき、調理、試食、交流をおこないました。慣れない魚さばきにはじめは少し戸惑いながらも楽しく調理を行ない、アジとイスズミのフライやヒラマサの刺身やお吸い物などを作りました。料理をしてみて、毎日料理を作ってもらっていることに対する感謝の気持ちをもった生徒も多かったようです。島を離れる生徒たちにとって、小値賀の食材に触れることは小値賀を見つめ直し、地産地消と食育についても理解を深める良い機会となりました。



魚のさばき方の指導



調理の様子



完成しました



おいしくいただきます

1学年 Q&A 集検討会 (アイランドチャレンジ事業)

1月30日(金)、1学年が小値賀町役場において外国人観光客に対応するためのQ&A集の実用化に向けた検討会に参加しました。Q&A集はアイランドチャレンジ事業によるもので、作成は昨年度より進めてきました。検討会では小値賀町役場の方々、小値賀アイランドツーリズムの方々からアドバイスをいただきました。



検討会の様子



議論する生徒

生徒代表お礼のこたば

進路講演会

2月5日(水)、1・2年生を対象に進路講演会を実施しました。ベネッセコーポレーション学校カンパニー九州支社長崎県担当 池松 翔太 氏をお招きし、αコース、βコースそれぞれに向けて講話をしていただきました。講演会では、社会がこれからどのように変化していき、どのような人材が求められるか、そのために高校生活で何を頑張るべきか、ということについて話をいただきました。生徒は、自分が今置かれている現状を知り、進路実現に向けて何をすべきか真剣に考えていました。



講師の池松先生



生徒代表お礼のこたば

編集後記 松のひとりごと・・・

今年度も残すところあとわずかとなりました。3月は卒業式や離任式があり、様々な人がこの学校を離れていくこととなりますが、それぞれの人がそれぞれの場所で活躍できるようにしっかり準備をしておきたいですね。

